

講義名	教養特講Ⅰ（人間健康学科へのいざない）		
科目区分	教養特講		
担当教員	内田 遼介／北村 裕美／関 和俊／ 中山 一部／前川 明／山口 泰雄／		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科／2020年度 人間社会学部 観光学科／2020年度 人間社会学部 人間社会学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
1年生後期から始まる人間健康学科での専門的な学修に向けての基礎を築く。 身体仕組みや心身の健康を維持するための知識、スポーツビジネスの仕組み、キャリア形成など、人間健康学科で取り扱うテーマの概要を知る。 楽しむためのスポーツ、支えるスポーツ、健康づくりのスポーツなど、さまざまな視点からのスポーツの演習を行う。

到達目標
将来専門家として各分野で活躍するために必要な知識と技術、資格取得について理解を深める。 演習を通して、同じ学科で学ぶ学生相互の親睦を深め、コミュニケーション能力、対人関係能力、協調性を養う。 将来の進路選択を見据えたコース選択ができる。

提出課題
授業中に実施する小レポートや課題を提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
各回小レポートの提出があります。対面授業が可能になった場合、体力測定において自身の体力評価を行ってまいります。

評価の基準
提出課題や出席状況、授業への参加度などで評価する。 オムニバス科目のため、担当教員ごとに評価をした上で最終的に総合評価を行う。

履修にあたっての注意・助言他
対面授業が可能になった場合、アスレチック棟3階で実技を行うことがあります。服装は、運動できる服装、タオル、体育館シューズとなります。

教科書
. 使用しない。

プリント資料及び参考文献
適宜、資料を配布する。

授業計画
1：ガイダンス 2：キャリア形成と能力開発へのいざない 3：健康体力学へのいざない 4：健康づくり学へのいざない 5：スポーツ・運動処方学へのいざない 6：スポーツマーケティングへのいざない 7：生涯スポーツへのいざない 8：キャリアデザイン学へのいざない 9：スポーツ心理学へのいざない 10：健康運動・トレーニング指導者へのいざない 11：健康情報学へのいざない 12：スポーツと環境（暑熱・高山など）へのいざない 13：スポーツツーリズムへのいざない 14：メンタルトレーニングへのいざない 15：まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
○ カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
予習： 毎回の講義のテーマに沿った内容を事前に調べておくこと。 復習： 各回で取り上げたテーマについて、自分の身の回りの事例をふまえてまとめておく。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
遠隔授業（「課題学修型」および「同時双方向型」）で行うため、スマートフォン、PC、タブレット等を準備しておくこと。担当教員によって授業の方法が異なるため、注意すること。課題学修用の教材はR1UKA Portalにて確認すること。同時双方向型はSkype for Business、Responを使用するため、必ず使用機器にインストール、設定しておくこと。教員の掲示、説明を十分理解するように努めること。

実務経験の有無及び活用

備考